

令和5年度 第2回 龍ヶ崎市子ども・子育て会議 議事録

供 覧			記録者		豊嶋	
	部長	次長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員

件 名	令和5年度 第2回 龍ヶ崎市子ども・子育て会議
日 時	令和6年3月27日（水）午後2時00分～午後3時10分
場 所	龍ヶ崎市役所本庁舎 5階 全員協議会室
出席者	<p>【委員】 米原立将会長、五十嵐淳委員、林敬子委員、山村邦男委員、 伊藤悦子委員、水野保子委員、上條静子委員、中村友則委員、 大芦佳恵委員</p> <p>【事務局】 福祉部 荒楨部長 中嶋次長 こども家庭課 蔭山課長 二野屏グループリーダー 豊嶋主査 保育課 海老原課長 脇島グループリーダー コンサル (株)アールピーアイ 栃木 室井</p>
欠席者	<p>【委員】 大野美智子委員、永山諭委員、小林史人委員、飯塚拓也委員、森上由里委員</p>
傍聴者	0人
会議の内容	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 龍ヶ崎市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果報告について (2) その他 4 閉会

発言者	審議の内容
事務局	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、令和5年度第2回龍ヶ崎市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>始めに、委員の変更がありましたので報告します。</p> <p>(永山委員の紹介)</p> <p>本日は、ニーズ調査等の業務委託を請け負っている株式会社アールピーアイ栃木にも同席していただいております。</p> <p>(コンサルの紹介)</p> <p>会議に先立ちまして、米原会長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
米原会長	(米原会長よりあいさつ)
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の委員の出席状況でございますが、委員総数14名の内、9名の委員が出席されております。出席の委員が定足数に達しておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>それではこれより米原会長に、議長として議事進行をよろしくお願いいたします。</p>
米原会長	それでは議事に入ります。(1) 龍ヶ崎市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(配布資料に沿って説明) (1) 龍ヶ崎市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果報告について
米原会長	ご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。
事務局	事前にいただいている質問がありますので、事務局より説明させていただきます。
事務局	<p>伊藤委員より、調査対象の抽出方法と回収率向上のための工夫についてご質問をいただいております。</p> <p>調査対象者については、各小学校の児童数の比率に応じて対象世帯を抽出し、調査対象者1,000人を抽出しております。今回は調査期間が短かったため、再依頼の案内は行っておりませんが、調査対象者に市役所職員が含まれていたため、職員に声掛けをして協力をお願いしました。</p>
伊藤委員	職員の人数はわかりますか。
事務局	手元に資料がございません。国が求めている質問項目が多く、ボリュームのある調査のため、他自治体においても回収率は50%前後となっております。龍ヶ崎市においては、回収率が40%台と低くなっておりますが、この結果を基に集計をしております。
伊藤委員	回収率を上げることは難しいとは思いますが、個人としては、今回の回収率は良かったのではないかと感じております。
米原会長	<p>前回調査より10%程回収率が下がっておりますが、質問項目の増加等により調査のボリュームが増えていることもあり、他自治体においても同様に回収率の低下がみられているようです。紙ベースでの回答と、WEBでの回答を併用している自治体もあるようですので、5年後の調査時には検討していただければと思います。</p> <p>当初、未就学児については調査対象者数を2,000人としておりましたが、全数調査を行っても2,000人に達しないといった結果になり、少子化が進んでいると実感しました。</p>

中村委員	P 82、「問41 子育てに関する情報をどのように入手していますか」について、「親族（親、きょうだいなど）」及び「友人」と回答している方が多くなっておりませんが、その親族や友人はどこから情報を入手しているのかがわからないと、どの媒体が有用であるのかがわからないので、可能であれば追跡できると良いと思いました。
米原会長	例えば、「子どもの歯がやっと生えてきた」という親に対し、親族や友人が「そういう子どももいる」といった話をする 것도子育てに関する情報を入手していることに繋がると思うので、質問が曖昧なのだと思います。
中村委員	夜間救急などの情報を指していると考えていたのですが。
米原会長	そのような情報も含まれていると思います。 親族や友人を選択せずに、「LINE、フェイスブック等のSNS」のみを選択した方は、身近で質問できる環境にないことも考えられるため、支援が必要だと思います。
伊藤委員	P 146、「問31 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか」について、ダブルケアについては国においても話し合われているようですが、今後、子どもを増やしていくためには充実した施策が必要だと感じました。
米原会長	ダブルケアについて、前回調査と比較した結果を教えてください。
コンサル	就学前児童について、P 79、「問36 あなたは、『ダブルケア』という言葉を知ったことはありますか」において、「ある」と回答した方は30.0%に対し、前回調査は32.5%と、2.5ポイントの減少となっております。「問37 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか」において、「現在行っている」と回答した方は2.6%に対し、前回調査は2.3%と、0.3ポイントの増加となっております。
米原会長	ダブルケアを、「現在行っている」、「現在行っていないが、過去に経験がある」、「現在行っていないが数年先に行う可能性がある」と回答した方の合計は約5割となっておりますが、この数値についても前回調査からの増減はあまりみられませんか。
コンサル	前回調査では、6割弱となっております。
米原会長	団塊ジュニア世代が就学前児童の子育てを終えているため、減少していると考えられますが、5割以上の方がダブルケアをしている、または今後する可能性があるため、行政としての対策が必要になると思います。
中村委員	アンケートの回答方法について、オンラインでの回答を望む声もありましたが、5年後の調査はどのような見通しとなっているのでしょうか。
事務局	今回の調査においても、当初はオンラインでの回答を検討しましたが、28ページとボリュームがあり、LINE等での回答は難しいと判断しました。役所内では、オンライン調査を実施している部署もありますので、次回の調査については紙とWEBの併用を検討したいと考えております。
中村委員	紙の価格が上がり、紙ベースでの配布はコストもかかると思うので、WEB回答を取り入れ、回答者にポイントを差し上げるなどすることで、回答率が上がる可能性はあると思います。また、WEB回答にして調査対象を全数にし、対象者を増やすことで、回答率は下がるかもしれませんが、回答者数は増加するのではないかとと思うので、オンライン化を検討いただきたいと思います。
米原会長	WEB調査は、回収後の作業を考えても有用だと思います。

中村委員	高齢者向けのアンケートでは難しいところがあるかもしれませんが、若い方へのアンケートであれば対応できると思います。
伊藤委員	P17、「問12 子育てをする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください」や、P86、「問45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください」については、経済的支援についての意見が多く出ていますので、政策が必要だと思いました。
中村委員	子どもの遊び場について、夕方や休日の小学校のグラウンド利用の制限を緩和してほしいと思います。過去に他県で大きな事件があったことは理解しておりますが、現在は、学校の許可がないと利用できない状況となっているため、ボールを使用することもできて、親も安心できるグラウンドの利用について、見直しを検討いただければと思います。
五十嵐委員	市内全ての小学校の状況を把握しているわけではありませんが、グラウンドの利用を制限している学校は多いと思います。私の赴任先の学校ではグラウンドを解放しており、赴任してから3年間は大きな問題は起きておりませんが、いつ起きるかわからないといった危機感は常にあります。また、そこでケガをした場合などは子どもが職員室に来るため、本来の業務以外の対応が必要になります。事件が起きた際に責任を学校に向ける保護者がいることも残念ながら事実としてあります。そのため、学校、保護者、行政が一体となり子育てをする環境づくりや、問題が起きた際は、学校だけでなく、市を挙げて対応できる体制が整うことで、学校側も協力できるのではないかと思います。
米原会長	前向きな提案をいただきました。すぐに解決できることではないと思いますが、本会議において計画策定を進める上で取り入れることはできると思いますので、管理責任等を整理し、保護者の理解を得られるような方法を検討していきたいと思います。 ニーズ調査の結果報告を受けて、事務局より意見はありますか。
事務局	育児休業の取得率が、父・母ともに前回より高くなっております。父親については、育児休業を「取得していない」と回答した方が約7割おりますが、取得した方が10%台となっているため、良い傾向なのではないかと思っております。 経済的支援についての意見が多くあり、少子化に関する質問においても、経済的な支援があれば子どもが増えるのではないかといった意見がありました。本調査は、現在子育てをしている方を対象としているため、経済的な支援についての回答が多かったように思いますが、中高生を含めた若い世代に少子化について同様の調査を実施した場合は、結果が異なるのではないかと思います。
米原会長	結婚についての調査においても、経済面に不安がなければ結婚に繋がる、結婚に繋がれば、子どもについても考えるといったような、経済面に対する意見が出ております。また、全国的な調査では、2人目以降の子どもを持たない理由として、教育費などの経済面について多く挙げられておりますので、課題の解決が必要だと思います。
大芦委員	高校生になる娘がおりますが、昔に比べ得て遊ぶ場所が限られているうえに、物価高騰が重なり、遊ぶためにもお金が必要になってきております。また、習い事をするにしてもお金はかかるので、子どもを育てるためにはお金がかかるといった意見が多いのだと思います。一人親の場合は、医療費の支援な

	<p>どがあるため生活を送ることはできますが、子どもの好きなことをさせてあげたいと考えると、経済的な負担は大きいと思いました。</p>
米原会長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>会議の冒頭において、議事録署名人についての話をし忘れておりました。本日の議事録署名人は、林委員と上條委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次の議事に入りたいと思います。(2) その他について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(配布資料に沿って説明)</p> <p>(2) その他</p> <p>計画策定にかかる今後のスケジュール及び幼児・保育施設の利用定員変更について説明</p>
米原会長	<p>ご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
伊藤委員	<p>定員に対して希望者が、入園できないといったことはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>子どもの数に対する保育の必要量は充足されております。希望する園に入所できないといったことは考えられますが、園を選ばなければ不足することはないと考えております。</p>
米原会長	<p>4月以降の年齢別の空き状況がわかれば教えてください。</p>
事務局	<p>0歳児から5歳児クラスの全年齢において、どこかしの園には空きがある状況ですので、待機児童はいないと認識しております。</p>
米原会長	<p>東京都内においても0歳児クラスに空きがあるような園もあるようですが、昨年4月と比較して、空き状況に変化はありますか。</p>
事務局	<p>前年と同様の空き状況だと思います。</p>
米原会長	<p>ほかにご意見等がないようであれば、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>米原会長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、慎重審議ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第2回龍ヶ崎市子ども・子育て会議閉会させていただきます。</p>

上記については、令和6年3月27日に開催した、令和5年度第2回龍ヶ崎市子ども・子育て会議の会議録に、相違ないことを確認したので署名する。

令和 年 月 日

会 長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____